

---

# 学校教育

---

- 1 小中学校現況
  - 2 学校給食
  - 3 学力向上プラン
  - 4 小中一貫教育
  - 5 保護者支援制度
-



➤ 1 小中学校現況

1 児童生徒・教職員数及び施設の概況

区分 学校名		学級数 (学級)		児童生徒数 (人)								教職員数 (人)					
		普通	特別 支援	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別 支援	計	校長	教頭	教諭	養護 教諭	事務 職員	栄養 教諭
1	当別小学校	12	4	56	54	48	69	65	69	7	368	1	1	23	1	2	1
2	西当別小学校	11	2	45	49	40	44	44	57	3	282	1	1	16	1	1	
小 学 校 計		23	6	101	103	88	113	109	126	10	650	2	2	39	2	3	1
1	当別中学校	8	3	72	88	79				5	244	1	1	19	1	1	
2	西当別中学校	6	3	55	47	79				5	186	1	1	15	1	1	
中 学 校 計		14	6	127	135	158				10	430	2	2	34	2	2	
合 計		37	12							20	1,080	4	4	73	4	5	1

※平成28年5月1日現在の学校基本調査による

学校名	校舎 構造	校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	校地面積 (㎡)	校舎建設年	屋体建設年
当別小学校	R	4,922	983	20,967	昭和46年	平成24年
西当別小学校	R	4,351	702	15,789	昭和57年	昭和58年
小学校合計		9,273	1,685	36,756		
当別中学校	R	4,234	950	43,310	昭和44年	昭和44年
西当別中学校	R	3,839	678	28,749	昭和55年	昭和54年
中学校合計		8,073	1,628	72,059		
小中合計		17,346	3,313	108,815		

※R：鉄筋コンクリート造

## 2 児童生徒数の推移

### ◆ 児童数（小学校）

各年5月1日現在（単位：人）

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
平成24年	117(0)	134(1)	137(2)	153(3)	159(2)	168(3)	868(11)
平成25年	115(2)	119(1)	132(1)	136(2)	150(3)	161(2)	813(11)
平成26年	100(2)	116(2)	116(2)	128(1)	134(2)	148(2)	742(11)
平成27年	109(2)	99(3)	113(1)	112(1)	134(2)	134(4)	701(13)
平成28年	103(2)	104(1)	91(3)	114(1)	110(1)	128(2)	650(10)

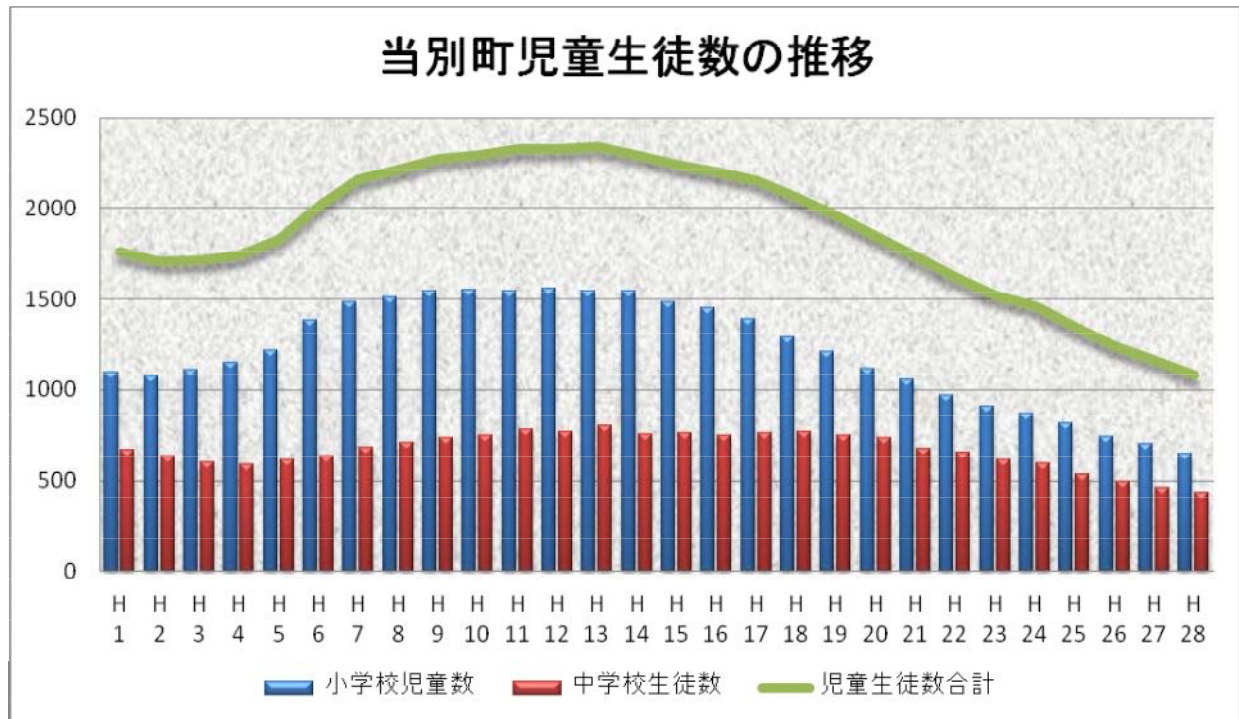
※（ ）は、特別支援学級における児童数を示す。（内数）

### ◆ 生徒数（中学校）

各年5月1日現在（単位：人）

年度	1年	2年	3年	計
平成24年	180(4)	192(2)	219(3)	591(9)
平成25年	160(4)	178(4)	194(2)	532(10)
平成26年	158(2)	159(5)	178(4)	495(11)
平成27年	140(3)	160(2)	160(5)	460(10)
平成28年	131(4)	138(3)	161(3)	430(10)

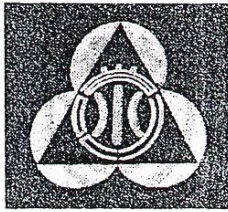
※（ ）は、特別支援学級数における生徒数を示す。（内数）



3 各学校概況

当別小学校

校章・所在地



〒061-0222  
 北海道石狩郡当別町元町 102 番地  
 電話：0133-23-2102 FAX: : 0133-23-3760

【校章の意味】

中央に当別小の文字。3つの輪は考える〈智〉、明るい〈徳〉、元気な〈体〉の調和を表す。

校歌

一  
 紫雲にけふる 阿蘇の山  
 麓をめぐる当別の  
 流れつきせぬ 学びやに  
 至誠の華は香るなり

二  
 由緒も深き 開拓の  
 先人の意気しのびつつ  
 心をつくし 身をつくし  
 誠の道にはげみなん

作曲 大橋 義雄  
 作詞 末武 涉

沿革の概要

明治 5年	鮎田如牛が当別町において開塾	平成 7年	学校給食開始
6年	「当別教育所」と改称	12年	コンピュータ教室設置
39年	校舎現在地移転	14年	開校130周年記念写真集作成
43年	北海道庁官より教育の侯に対し選賞		石狩管内教育機器連盟研究大会開催
大正 9年	校舎新築	16年	石狩管内教育実践奨励表彰受賞
昭和 22年	6・3制により「当別小学校」と改称		ことばの教室が通級指導教室となる
39年	特殊学級「いなほ」1学級認可	17年	オヤジの会発足
41年	石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成（当別学校プール1号）	24年	体育館改築
44年	体育館完成		開校140周年記念事業 （全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成）
47年	新校舎完成、落成式挙行政 開校100周年記念式典挙行政、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈	27年	全国書道コンクール団体優勝 （15年連続26回目） 全国学生書道展覧会団体優勝 （21年連続31回目）
52年	学校基本調査について文部大臣表彰		電子黒板・書画カメラ設置
53年	学校の教育目標改訂		当教研学校課題研究発表会
57年	創立110周年記念式典挙行政、 PTA記念事業により遊具施設設置	28年	弁華別小学校閉校により本校に統合
58年	石狩地区小学校放送教育研究指定校		
59年	石狩管内教育実践表彰受賞		
63年	石狩地区小中学校放送教育研究大会開催 「ことばの教室」1学級認可		

教育目標

一人一人の子どもを大事にし、大事にされ合う人間関係の中で、平和で幸福な社会の担い手として、小中9年間を見通した心身の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てる。

- ◇ 知性をみがく子ども （よく考える子ども）〈知〉
- ◇ 心豊かな子ども （心のゆたかな子ども）〈情〉
- ◇ 意志の強い子ども （さいごまでやりぬく子ども）〈意〉
- ◇ からだのじょうぶな子ども （強いからだの子ども）〈体〉

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 命や思いやりを大切にする心の育成</li> <li>◆ ドリカムプロジェクトによる確かな学力の定着・向上</li> <li>◆ 自分の健康に関心を持ち、運動が好きな子どもの育成</li> <li>◆ 家庭や地域との連携・情報発信</li> </ul> <p>※「自分づくり」「仲間づくり」を促す指導を通して</p>																																													
研究主題	<p>《 重点目標 》 『やる気と自信を高め、笑顔あふれる子どもの育成』</p> <p>《 研究主題 》 『生き生きとした学びを生み、確かな読みの力を育てる指導のあり方』</p>																																													
特色ある教育活動	<p><b>1 確かな学力の定着・向上の取組</b> 「基礎学力」と「続ける力」を育てるドリカムプロジェクトにより、絶対に身に付けさせる基礎学力を明確化し、全学級で共通した取組を行う。</p> <p><b>2 小中一貫教育を目指した、小中連携教育の取組</b> 小中で目指す児童生徒像の共有化を図りながら、9年間を見通した指導計画の作成、小中合同研修会の開催、乗り入れ授業等の取組を行う。</p> <p><b>3 読書活動の推進</b> 朝読書（全校一斉）をはじめ、読み聞かせ・読み語りのボランティアの協力も得ながら読書に親しませることによって、豊かな心を育て、確かな学力の基盤を整える。</p> <p><b>4 書道教育の推進</b> 週1回の朝書道では、筆ペンや硬筆で名前や名文を練習する。また、毎月「書道の週間」を設け、全校一斉に書道に親しむ活動を行う。</p>																																													
学級編制	平成28年5月1日現在																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #FFD700;"> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>棚田援級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>31</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>6</td> <td>186</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>38</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>1</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>56</td> <td>54</td> <td>48</td> <td>69</td> <td>65</td> <td>69</td> <td>7</td> <td>368</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	棚田援級	合計	学級数	2	2	2	2	2	2	4	16	男子	25	27	24	31	35	38	6	186	女子	31	27	24	38	30	31	1	182	合計	56	54	48	69	65	69	7	368
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	棚田援級	合計																																						
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16																																						
男子	25	27	24	31	35	38	6	186																																						
女子	31	27	24	38	30	31	1	182																																						
合計	56	54	48	69	65	69	7	368																																						
教職員	平成28年5月1日現在																																													
	<p>校長 西野 典 男</p> <p>教頭 三 島 哲</p> <p>教職員数 教諭23名 養護教諭1名 栄養教諭1名 事務職員2名 非常勤講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員1名</p>																																													

# 西 当 別 小 学 校

校章・所在地



〒061-3776  
 北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地  
 電話：0133-26-2170 FAX：0133-26-2813

**【校章の意味】**

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

校歌

<p style="text-align: center;">三 夕雲遠く しずまりて 阿蘇岩山に あかねさす われらはのぞみ もやしあい 育つよ育つ すこやかに 西当別の小学校</p>	<p style="text-align: center;">二 緑の原を つらぬきて 石狩川の 水清し われらはともに 手を結び 進むよ進む ひとすじに 西当別の小学校</p>	<p style="text-align: center;">一 青き手稲の かがやけば 豊かなる野に 風かおる われらはあした 集い来て 学ぶよ学ぶ さわやかに 西当別の小学校</p> <p style="text-align: right;">作詞 坂本 作曲 津田 甫亮</p>
---	---	--

沿革の概要

<p>昭和 26年 獅子内小学校・太美小学校が合併し 西当別小学校設立 新校舎落成・移転 校章制定 27年 西当別小学校校歌制定 32年 校舎増築、屋内体育館完成 36年 開校10周年記念式挙行 46年 開校20周年記念式挙行 48年 増築校舎完成(理科室・準備室、視聴覚室、 放送室、保健室) 50年 北海道小中学校放送教育研究大会開催 56年 開校30周年記念式・祝賀会 57年 新校舎完成(普通教室4・音楽室・理科室) 58年 新体育館落成式・祝賀会 62年 開校記念日指定・祝賀会 平成 元年 グラウンド改修工事 3年 高岡小学校本校へ統合 6年 増築校舎落成式・祝賀会 7年 プレハブ校舎4教室完成 8年 増築校舎完成式 (普通教室8・音楽室・図工室)</p>	<p>平成 9年 「たんぼぼ学級」設置 13年 新学校教育目標制定 開校50周年記念式・祝賀会 14年 視聴覚室改修 15年 児童図書管理コンピューター化 16年 ハマナス50本植樹 (朝日新聞社より寄贈) 18年 文部科学省指定の「小中連携事業」 開始(2か年) 19年 国際理解教育開始(ALTとの学習) JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より) 22年 当別町青少年善行賞受賞 (リングブル・エコキャップ収集) 当別町140年記念パレード見学、 記念式典参加(5年生) 23年 大崎市へ震災復興激励の横断幕の送付 24年 JR電化祝賀式典参加 26年 西当別地区プレイハウスが西当別 小学校内へ移転 27年 電子黒板・書画カメラ設置</p>
---	---

教育目標

- ◇ 心ゆさぶる感性 <心> ・のびのび語り合う子
  - ◇ 学び求める知性 <学び> ・ぐんぐん学び合う子
  - ◇ 生き方がく個性 <生き方> ・もりもりきたえ合う子
- [平成13年3月改定]

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆確かな学びづくり 確かな学力を支える、基礎・基本の習得及び活用する力の育成</li> <li>◆豊かな心づくり 人とかかわり、共に生きるための、豊かな人間性・社会性の育成</li> <li>◆健やかな体づくり たくましく生きるための、健康や体力の育成</li> <li>◆信頼される学校づくり 地域が誇り保護者が集う、信頼される学校づくりを推進</li> </ul>																																													
研究主題	<p>《 重点目標 》 「進んで学び、高め合う、心豊かでたくましい児童の育成」</p> <p>《 研究主題 》 「課題に向かって主体的に学ぶ子どもの育成」 ～見通しを持って意欲的に課題解決に取り組む算数科を目指して～</p>																																													
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎・基本を大切に確かな学力を身につける学習指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2年は国語と算数、3～6年は算数の時間にT T・少人数指導を実施</li> <li>・全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む</li> <li>・学生ボランティアS A Tを活用した授業の実施</li> </ul> </li> <li>2 地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア） <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な教科や特別活動、総合学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用</li> </ul> </li> <li>3 N P Oと取り組む環境教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・N P Oの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5年「道民の森」での学習など）</li> </ul> </li> <li>4 活発に行われる読書活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校一斉の「朝の読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み</li> </ul> </li> <li>5 生き生きと展開する児童会活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあい集会」</li> <li>・リングプル回収運動による福祉施設への車いす寄贈、児童会が主体的に計画運営する「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」</li> </ul> </li> <li>6 基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる幼保小中連携事業の充実・発展</li> </ol>																																													
学級編制	平成28年5月1日現在																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #ffff00;"> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>22</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>19</td> <td>36</td> <td>3</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>0</td> <td>128</td> </tr> <tr style="background-color: #ffff00;"> <td>合計</td> <td>45</td> <td>49</td> <td>40</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>57</td> <td>3</td> <td>282</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援級	合計	学級数	2	2	1	2	2	2	2	13	男子	22	24	26	24	19	36	3	154	女子	23	25	14	20	25	21	0	128	合計	45	49	40	44	44	57	3	282
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援級	合計																																						
学級数	2	2	1	2	2	2	2	13																																						
男子	22	24	26	24	19	36	3	154																																						
女子	23	25	14	20	25	21	0	128																																						
合計	45	49	40	44	44	57	3	282																																						
教職員	平成28年5月1日現在																																													
	<p>校長 樟山行彦</p> <p>教頭 山谷潤</p> <p>教職員数 教諭16名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員1名</p>																																													



# 当 別 中 学 校

校章・所在地



〒061-0205

北海道石狩郡当別町下川町 125 番地

電話：0133-23-2158 FAX：0133-23-2956

### 【校章の意味】

当の大文字で囲み、全体を雪の結晶とし、たくましく生きる力を表す。

校歌

<p>三 開拓の祖 遠くして 愛と真の 血を伝う 男子女子 手を執りて 結ぶ友垣 誇りあり 吾ら讃えん ああ我が郷土</p>	<p>二 白雪映える 阿蘇岩の 高嶺に想う あけくれは 真理きわめて らんまんの 花咲かせてん 念願あり 文化の殿堂 ああ我が学舎</p>	<p>一 緑風匂う 石狩の 愛の園生に 生い立ちて 光あたらしき 日の本の 使命に生きん 祈りあり 平和の先駆 ああ我が学友</p>	<p>作詞 井上 治雄 作曲 藤 定一 工藤 定一</p>
--	---	--	---------------------------------------

沿革の概要

<p>昭和 22年 当別村立当別中学校が開校 校章制定 25年 校歌制定 独立校舎に移転（旧競馬場跡） 27年 中小屋分校が独立 30年 三番川、四番川分校が本校の分校になる 32年 同窓会発足 開校10周年記念式典 33年 三番川、四番川分校が独立 36年 当別川が氾濫し校舎床上浸水 41年 ときわ学級開設（特殊学級） 42年 開校20周年合同記念式典 44年 牛乳給食開始 新校舎完成竣工・移転完了 48年 スクールバス運行開始 52年 開校30周年記念式典 58年 校舎改築工事 平成 4年 石狩管内教育実践奨励賞受賞 8年 学校給食開始</p>	<p>平成 9年 スクールカウンセラー配置 11年 当別中学校開校50周年記念式典 15年 第3回東日本学校 吹奏楽コンクール金賞（C編成） 17年 除雪ボランティア善行顕彰を受賞 19年 石教研学校課題研究発表 20年 剣道部女子全道大会出場 21年 相撲部全道大会準優勝、 剣道部女子全道大会出場 22年 相撲部全道大会準優勝 当別町140年記念パレード、 記念式典参加 23年 校舎・体育館耐震化工事完了 バックネットの改修工事完了 24年 JR学園都市線電化開業記念イベント参加 25年 東生徒トイレ改修 26年 西生徒トイレ改修 27年 電子黒板・書画カメラ設置 28年 弁華別中学校閉校により本校に統合</p>
---	---

教育目標

- ◇ 真剣に学び 自己を高めよう
- ◇ 協力しあい 責任ある行動をとろう
- ◇ 自ら実行し 最後までやりぬこう
- ◇ 美しいものに感動できる豊かな心をもとう
- ◇ 身体を鍛え たくましくなろう

精 神

「優しく 強く」

経営の重点	<p>◎小中一貫教育の推進</p> <p>【信頼され、開かれた、質の高い学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 情報の発信・共有により、生徒・保護者・地域に開かれた学校づくりの推進</li> <li>◆ 自己点検・評価・学校関係者評価の実施 及び結果の公表、</li> <li>◆ P T A活動・行事、地域活動・行事への生徒及び教職員の積極的な参加</li> <li>◆ 地域人材の活用 校内研修と自己研修による資質能力向上</li> </ul> <p>【知・徳・体のバランスの取れた生徒の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 真剣に学習する生徒〈知〉</li> <li>◆ 素直に感動する生徒〈徳〉</li> <li>◆ 厳しく自らを鍛える生徒〈体〉</li> </ul>																														
研究主題	<p>≪ 学校課題 ≫ 学び合い、認め合い、高め合う心豊かな生徒の育成</p> <p>≪ 研究主題 ≫ 「一人ひとりの確かな学力を育成する指導方法の工夫」 ～基礎基本の定着と学習習慣の確立を目指して～</p>																														
特色ある教育活動	<p>(1) 数学と英語でT T・習熟度別授業を実施</p> <p>(2) 全校的に日常の朝自習、週末課題への取り組み</p> <p>(3) 総合的な学習の時間では「生き方を求めて」を共通テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生 ～ 農業体験（ジャガイモの栽培）</li> <li>○ 2年生 ～ 職場体験学習（2日間）</li> <li>○ 3年生 ～ 当別を知る</li> </ul> <p>(4) 体育ではスキー学習、武道等で地域の特性を生かした授業の実施</p> <p>(5) 部活動については体育系7部、文化系3部</p> <p>(6) 町内の各種催事で吹奏楽部が演奏</p> <p>(7) 小中連携教育</p>																														
学級編制	平成28年5月1日現在																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #FFD700;"> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>33</td> <td>51</td> <td>43</td> <td>4</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>39</td> <td>37</td> <td>36</td> <td>1</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>72</td> <td>88</td> <td>79</td> <td>5</td> <td>244</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	3	3	2	3	11	男子	33	51	43	4	117	女子	39	37	36	1	127	合計	72	88	79	5	244
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	3	3	2	3	11																										
男子	33	51	43	4	117																										
女子	39	37	36	1	127																										
合計	72	88	79	5	244																										
教職員	平成28年5月1日現在																														
	<p>校長 武岡 則夫</p> <p>教頭 森 正彦</p> <p>教職員数 教諭19名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師1名 特別支援教育支援員2名</p>																														

# 西 当 別 中 学 校

校章・所在地



〒061-3772  
 北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1  
 電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

**【校章の意味】**

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

校歌

四 大いなる 恵の朝 われら今 光を受けて 踏み分けん 真の長道 西当別 われらのふるさと	三 涼風は 垂穂にそよぎ 行く水は 広野うるほす 豊けしや みのりの里わ 西当別 われらのふるさと	二 緑なす 森の梢に 先人の 功徳びつ 集い合う 若人われら 西当別 われらのふるさと	一 石狩の 潮騒遠く 夕映えの 広がるほとり 厳かしく 立てる学び舎 西当別 われらのふるさと
作詞・作曲 倉島 繁			

沿革の概要

昭和 22年 23年 25年 26年 31年 32年 38年 42年 43年 46年 49年 51年 52年 54年 56年 57年 平成 4年 8年 9年 11年 12年	獅子内小に併置開校 当別町制施行町立に 校章制定、独立校舎落成 高岡分校設置 旧校歌制定 体育館落成 開校10周年式典 高岡分校独立 開校20周年式典 高岡中学校統合 町プール校地に設置 スクールバス運行 石狩管内教育実践奨励賞受賞 開校30周年式典 体育館落成 新校舎落成記念式典 校舎落成記念植樹 グランド完成 学校週5日制開始 学校給食完全実施、事務補配置 全国スキー大会回転優勝(豊島堅太) 開校50周年式典・スウェーデン訪問 全道剣道大会3位(菊池麻耶) 増築校舎完成 町P連研究大会(本校PTA主管)	平成 13年 14年 15年 16年 17年 18年 19年 20年 21年 22年 23年 25年 26年 27年	特殊学級設置・10学級編制 全道新体操準優勝(岩倉 歩) 全道陸上砲丸投げ3位(山本竜太) 110mH 3位(寺尾瑞基) 全道新体操優勝(岩倉 歩) 全道水泳 50m自由形3位、100m自由形 2位(太田千晶) 全国新体操準優勝(岩倉 歩) 全道ソフトボール大会3位 新教育目標設定 全道ソフトボール大会3位 18・19年度国立教育政策研究所委嘱 事業 小中連携教育実践研究指定校 当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会 道「青少年の主張」大会優秀賞(萩原有希) 石狩管内教育実践奨励賞受賞 モンゴル国教育視察団訪問 ESD 日米教員交流団来校 当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会 体育館大規模改修工事 旧校舎給水管改修工事 校務用生徒用パソコン更新 電子黒板・書画カメラ設置
--	--	---	--

教育目標

ここ西当別の大地で、  
 ◇ 高い知性 (知)  
 ◇ 強い意志 (徳)  
 ◇ 健やかな体 (体)  
 を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 実践力豊かな信頼される学校づくりの推進</li> <li>◆ 生徒の生きる力と自己実現を図る教育の推進</li> <li>◆ 基礎基本の確実な習得と自ら考え判断し表現する力を育む教育の推進</li> <li>◆ 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進</li> <li>◆ 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進</li> <li>◆ 時代の要請や今日的な教育課題を踏まえ、新たな可能性を創造する教育の推進</li> <li>◆ 家庭、地域と連携し、地域と共に歩む教育の推進</li> <li>◆ 学校いじめ防止基本方針に基づく教育の推進</li> <li>◆ 小中一貫教育基本方針に基づく教育の推進</li> </ul>																														
研究主題	<p>《 学 校 課 題 》 豊かな心に根ざした確かな学力</p> <p>《 研 究 主 題 》 自ら考え、進んで表現できる生徒の育成 ～自己肯定感を高める活動を通して～</p>																														
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国際交流と国際理解学習</li> <li>2 心に潤いを与え、豊かな情操を養う環境作り</li> <li>3 全校生徒一斉のクリーン作戦・校内環境整備</li> <li>4 生徒会によるピア・サポート運動</li> <li>5 花壇整備、長寿園訪問、太美駅清掃、友愛セールなどのボランティア活動</li> <li>6 義務教育9年間を見通した小中連携教育</li> <li>7 全校朝読書の実施</li> <li>8 環境教育</li> </ol>																														
学級編制	<p style="text-align: right;">平成28年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #FFD700;">学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #FFD700;">学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #FFD700;">男子</td> <td>27</td> <td>25</td> <td>42</td> <td>3</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #FFD700;">女子</td> <td>28</td> <td>22</td> <td>37</td> <td>2</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #FFD700;">合計</td> <td>55</td> <td>47</td> <td>79</td> <td>5</td> <td>186</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	3	9	男子	27	25	42	3	97	女子	28	22	37	2	89	合計	55	47	79	5	186
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	2	3	9																										
男子	27	25	42	3	97																										
女子	28	22	37	2	89																										
合計	55	47	79	5	186																										
教職員	<p style="text-align: right;">平成28年5月1日現在</p> <p>校長 菅原裕行</p> <p>教頭 宮口貴裕</p> <p>教職員数 教諭15名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師2名 特別支援教育支援員1名</p>																														

## ➤ 2 学校給食

### 1 学校給食の役割

学校給食は、栄養バランスのとれた食事の提供だけでなく、正しい食習慣・食文化を伝え、児童生徒一人一人が「自分の健康を考え、食事を選ぶ能力」を身につける大切な学びの場です。

- 栄養バランスのとれた豊かな学校給食
- 望ましい食習慣を形成する学校給食
- 人間関係を豊かにする学校給食
- 自然の恵みや感謝の心を育てる学校給食

### 2 施設概要

区分	概要
名称	当別町学校給食センター
所在地	石狩郡当別町若葉2224番地
敷地面積	3,625.00㎡ (1,096.56坪)
建物面積	1,098.12㎡ (332.18坪)
構造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部2階建
調理場区分	共同調理場
厨房方式	ドライシステム
調理能力	最大3,000食/日
廃水処理	回転円板方式
厨芥処理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386千円
実施状況	1,283食 (平成27年5月1日現在)

○ 運営 ～ 民間会社へ調理・配送・配膳業務を委託

### 3 給食費の状況

区分	実施回数 (回)	一食単価 (円)	年額 (円)	
小学校	1年	175～178	249	43,575～46,065
	2年	185		
	3年	184～185	255	46,920～47,175
	4年	184～185		
	5年	183～185	261	47,763～48,285
	6年	183～185		
中学校	1年	181～185	317	55,158～58,645
	2年	177～182		
	3年	174～175		

### 4 学校給食センター運営委員会

学校給食センター運営委員会は、教育委員会の諮問機関として11名の委員で構成されており、給食センターの運営に関わる基本的事項について審議しています。

[構成] 教職員5名、保護者3名、学識経験者3名 ※委員任期 2年

# ➤ 3 平成28年度当別町学力向上プラン

## 1 育みたい子ども像

知(確かな学力)・徳(豊かな心)・体(健やかな体)のバランスのとれた児童生徒の育成

## 2 基本方針

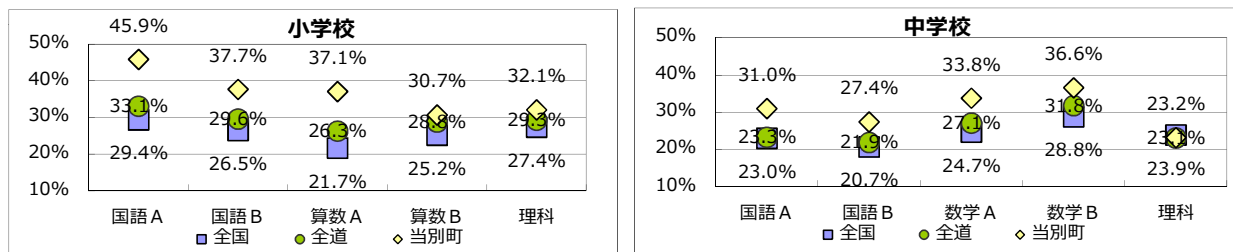
～連携から一貫教育～ 子どもの発達や学びの連続性を踏まえた一貫教育の推進

## 3 当別の児童生徒たちの現状—平成27年度全国学力・学習状況調査より

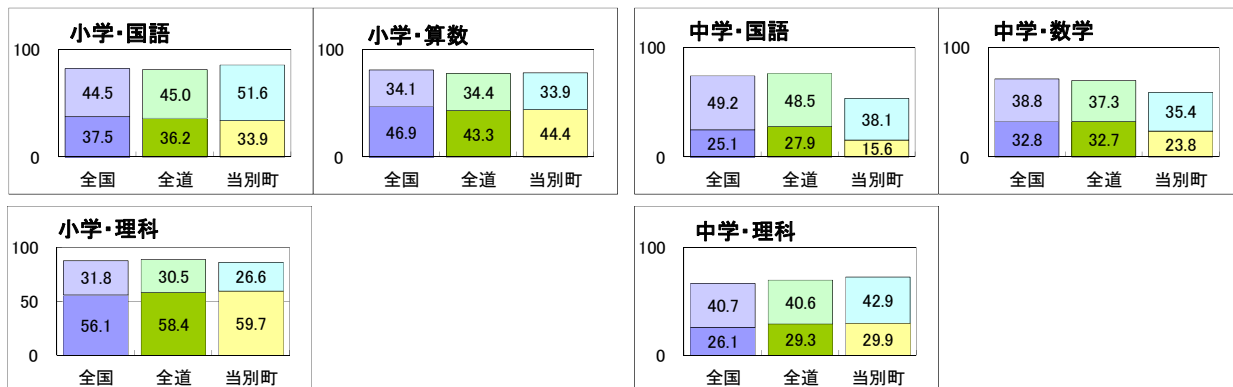
### (1) 教科平均正答率による比較



### (2) 全国の下位約25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童・生徒の割合



### (3) 授業の理解度について (下段: よくわかる・上段: どちらかといえばわかる)



### (4) 平日の家庭学習時間について



※小学校は、26年度の62%から着実に向上した。

※中学校は、26年度の29%から、23%と大きく減少した。



## 4 学力面の課題

### (1) 小学校

- ①国語、算数共に、全国平均を下回り、差が開いた。
- ②全教科で下位層(全国約25%)に占める割合が30%を超え、特に国語Aが45%となっている。
- ③正答率が90%以上の児童の割合が、算数B以外、全国平均を下回っている。

### (2) 中学校

- ①国語、算数共に、全国平均を下回り、差が開いた。
- ②下位層は、国語B(27.4%)、理科(32.2%)以外で、30%を超えている。
- ③正答率が90%以上の生徒の割合が、数学で全国より大きく下回っている。

## 5 質問紙調査にみる課題

①小学校では、TVやDVD視聴の時間は昨年度より減少傾向を示し、スマートフォンやインターネット使用時間も減少し、家庭での決まりごとの定着が窺える。中学校では、いづれも全国平均より多く、増加傾向を示している。

②家庭での学習時間では、小学校で平日・休日共に「1時間以上」と答えた児童は、全国平均を5.0ポイント上回り、中学校の平日で全国平均を16.0ポイント下回っている。小学校と比較しても低いことも課題としてある。

③就寝・起床時刻、朝食摂取などから安定した生活習慣が身に付いていることが窺える。朝食摂取が微減している状況から注意が必要。

④「読書が好き」と答えた割合は、小学生が53.2%で全国平均より4.3ポイント多く、中学生では34.0パーセントで全国平均より10.9ポイント低い結果になっている。小学校では、読み聞かせや読書環境の整備充実、中学校では、朝読書から朝学習への転換などの影響が窺える。

## 6 教育委員会の重点目標と具体的な取組

### ● 学校全体で取組む「確かな学力」の育成

- (1)教育課程の適切な編成と実施への指導・助言
- (2)学校改善プランへの指導・助言
- (3)一貫教育推進講師の活用
- (4)中学校へのデジタル教科書配備
- (5)放課後や土曜日の学習の場の提供
- (6)特別支援教育支援員の弾力的配置

### ● 教員の資質向上

- (1)主催事業「教員研修」の開催
- (2)全国小中一貫教育研究大会への派遣
- (3)町内教育研究団体への支援

## 7 学校の取組

①自校の教育課題解決のための教育課程の編成・実施・評価・改善の取組

③成長のステップを押さえ系統立てた学力向上のための小・中連携の各種取り組みの実行と評価・改善

⑤学校からの情報発信による、家庭学習や安全確保など、保護者・地域との協働、連携

②「学校改善プラン(下位層減少を意識した)」の策定、TT指導や習熟度別学習の実行・評価・改善

④授業力向上を目指した「校内研修ICT活用、板書・ノート指導、学習規律等)」や「OJT」の充実

⑥道徳の時間を機軸とした明確な指導観をもった、豊かな心を育む教育の推進

## 8 平成28年度の目標

- (1)全国学力・学習状況調査において、全教科の平均正答率を全国平均以上へ引き上げる。(北海道共通課題)
- (2)NRT/CRT検査での経年した分析結果(小中連携)を活用した授業改善の取組推進。
- (3)全国学力・学習状況調査において、下位層の割合を全国平均以下にする。
- (4)授業の内容が「わかる、良くわかる」と答える児童生徒の割合を100%になるよう、授業の工夫改善や、ICT機器を活用した効率の良い授業の推進及び研究の取組を行う。
- (5)家庭学習の時間を、小学生で「毎日10分×学年数+10分」、中学生で「毎日2時間以上」を目途とし、「まったくしない」児童生徒を無くすことを目指した、各校の組織的な取組を行う。

## 9 家庭との連携

- (1)今年度の重点として、教育委員会作成の「家庭教育の手引き」より、以下の5点の実践を促す。

①就寝、起床など、リズムある生活を送らせよう。

②学習時間を確保し、毎日勉強させよう。

③読書時間を確保し、本に親しませよう。(毎月「本の日の活用」)

④得意分野を見つけ、ほめて伸ばそう。

⑤子どもとの対話を大切にしよう。

(学校だよりや学級通信等へ掲載)

- (2)各学校(小中連携した)独自の「生活リズムチェックシート・家庭学習の進め方」等の取り組みを通して家庭教育を支援する。
- (3)コミュニティスクールを視野に入れた、学校だより、学年通信、学級だより、ホームページ等により、児童生徒理解・学校理解に努め、保護者・地域との連携を推進する。

## ➤ 4 小中一貫教育

町では、平成27年3月に「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」を策定しました。

この基本方針は、当別町第4次生涯学習基本計画で検討すべきとされた一体型による一貫教育を基本としつつ、一体型一貫校設置の過程において、当分の間、現在設置されている小学校と中学校の連携のもとで、義務教育9年間を見通した系統的で継続性のある一貫した教育を実現しようとするものです。

※「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」の詳細は、当別町教育委員会のホームページに公開しています。(アドレス：<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/site/kyoiku-top/>)

### 《 小中一貫教育基本方針 》 [平成27年3月策定]

#### 1 当別町で進める小中一貫教育の目的

- 「発達段階を考慮し、義務教育9年間を見通した教育課程の構築」と「小・中学校教員それぞれが、義務教育9年間で児童生徒を育てる」という考えの下、小中一貫教育を実践していくことで、それぞれの学校での指導の効果を高め、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力、望ましい生活習慣や規範意識を確実に身に付けさせる
- 家庭や地域と連携して、組織的・継続的な学校支援体制をつくることで、「家庭」、「地域」、さらに「学校」の教育力を高め、地域全体で子どもたちの9年間の学びを支えるまちづくりを実践する

#### 2 当別町小中一貫教育でめざす方向性

##### 一貫教育でめざす人間像

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

##### 一貫教育でめざす学校像

- (1) 上位の学校へのスムーズな移行や、ずれや逆転のないスムーズな学年移行が可能となる教育を行う学校
- (2) その学年で付けるべき力を全員に付けさせることができる学校
- (3) 地域や保護者の思いが生かされ共に歩める学校
- (4) 魅力が体感できる教育環境の下、先進的な取組を進める学校

##### 一貫教育でめざす地域像

- (1) 学校がまちづくりの核である地域
- (2) 家庭教育や学校教育を支援し、共に育む環境のある地域
- (3) 子どもたちと人々の心温まるふれあいのある地域
- (4) 地域の誇りや愛着の心を子どもたちに伝えていく地域

##### 一貫教育でめざす児童生徒像

- (1) 基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲
- (2) 豊かな人間性
- (3) 健全な心身
- (4) コミュニケーション能力
- (5) プレゼンテーション能力
- (6) 当別が好きな子ども



### 3 当別町で進める小中一貫教育の概要

- (1) 全小学校・中学校での小中一貫教育の実施（目標の設定）
- (2) 義務教育9年間を連続した教育課程の編成（教育課程の編成）
- (3) 地域の特色を活かした教科の導入（当別学の創設・国際教育の推進）
- (4) 児童生徒や教職員の交流（教科担任制導入や習熟度別学習と教職員の意識改革）
- (5) 発達段階に応じた学年区分による指導
- (6) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
- (7) 適正な学校規模の維持と良好な教育環境の確保（老朽化した施設の改善・児童生徒数の減少への対応）

### 4 当別町の施設形態

当初は、現在の中学校区にあわせ、2校の義務教育学校の設置を想定し、2校4校舎でのスタートに向け、取り組みを進めていきます。また、なるべく早い時期に、より教育効果が得られる施設一体型の一貫教育に移行します。

### 5 推進体制

一貫教育を推進していくため、学識経験者、学校関係者、保護者・地域の代表、公募による町民の代表、教育委員会事務局などで構成する組織を設置します。

### 《 小中一貫教育の取組 》

当別町教育委員会では、平成26年度から北海道教育委員会の指定を受け、「小中連携、一貫教育実践事業」に取り組んでいます。

当別町の児童生徒一人ひとりが夢や希望を持ち、実現していく力を育てるため、義務教育段階の学習内容の確実な定着を図る学習指導のあり方についての実践研究を行う取組を「当別小中ドリカムプロジェクト」として、当別小学校、当別中学校が連携し、義務教育9年間を見通した指導のあり方などを研究しています。

平成27年度からは文部科学省委託事業「小中一貫教育推進事業」にも併せて取り組んでおり、町内全域での取組のあり方についても研究も行っています。

#### 【平成27年度の主な取組】

- 教職員研修の実施（講師：京都産業大学文化学部教授 西川 信廣 氏）
- 道内外の先進地視察研修
  - ・白糖町教育委員会
  - ・小中一貫教育全国サミットの参加（新潟県三条市・奈良県奈良市）
- 小学6年生の中学校登校（入学説明会）の実施
- 9年間の系統性を明らかにした、外国語、理科、社会の「系統表」等の作成
- 板書の仕方など、統一性のある学習規律の共有
- 保護者向け「家庭学習の手引」の作成
- 地域住民向け「小中一貫教育リーフレット」の作成、配布
- 地域住民向け「教育講演会」の開催（2回）  
（講師：京都光華女子大学こども教育学部准教授 西 孝一郎 氏ほか）



教職員研修のようす 27.8



教育講演会（第2回）のようす 28.3



小中一貫教育リーフレット

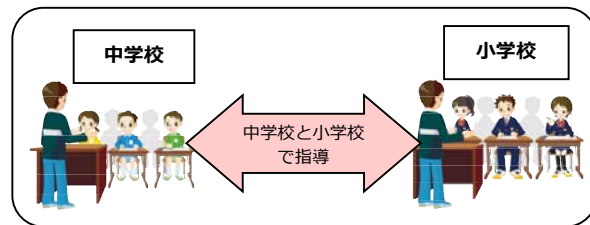
### 【平成28年度の主な取組】

#### ○ 小中一貫教育推進講師（非常勤）の配置

平成28年度から、町費で小中一貫教育推進講師を各中学校区に1名配置しています。

（主な取組）

- ① 町立小学校・中学校の児童・生徒に対する教科の指導及び補助
- ② 教材研究及び打合せ
- ③ 小中一貫教育の推進に関わり、校長が特に必要と認めた業務



#### ○ 小中一貫教育懇談会の開催

平成27年3月に策定した「当別町小中一貫教育推進の基本方針」を踏まえ、本町における小中一貫教育の実施に向けた方策について検討を行い、一貫教育のさらなる充実を図るため、当別町小中一貫教育懇談会を開催しています。



懇談会のようす

#### 【主な構成メンバー】

- |                   |    |
|-------------------|----|
| (1) 町立小学校・中学校の校長  | 4名 |
| (2) 地域住民          | 1名 |
| (3) 保護者           | 1名 |
| (4) 一般公募          | 1名 |
| (5) 外部有識者（アドバイザー） | 1名 |



### 【過去の小中連携・一貫教育の取組】

- 中1ギャップ問題未然防止事業（H22-24 道教委指定事業）  
 指定校 当別小学校・当別中学校  
 内容 当別町立当別中学校区における中1ギャップ解消プラン
- 小・中連携教育実践研究事業（H18-19 国立教育政策研究所受託事業）  
 実施校 西当別小学校・西当別中学校  
 研究課題 生徒指導に関する改善  
 ～9年間を見通した一貫した生徒指導の工夫改善～

## ➤ 5 保護者支援制度

### 1 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

内訳（平成28年度支給額）※今後、変更となる場合があります。

（単位：円）

区分		小学校	中学校	支給内訳
新入学児童生徒 学用品費等	1年	20,470	23,550	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品
学用品費(学) 通学用品費(通) 校外活動費(校)	1年	(学) 11,420	(学) 22,320	各教科及び特別活動の学習に必要なとされる学用品(実験、実習教材費を含む)、通学用靴、雨傘等の通学用品に係わる経費及び校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科
	2年	(学) 11,420 (通) 2,230 (校) 実費	(学) 22,320	
	3年		(通) 2,230	
	4年		(校) 実費	
	5年			
	6年			
体育実技用具費 小1・4年、中1年のみ	スキー	26,020	37,340	体育授業の参加に必要な体育実技用具(スキー、柔道)
	武道用具		7,510	
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学科などの経費
学校給食費		1・2年 249円 3・4年 255円 5・6年 261円 ×実食数	1~3年 317円 ×実食数	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	感染症又は学校病にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿痂疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫(虫卵保有を含む)をいう。

就学援助の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
小学校	対象人数		118	121	115
	援助総額		7,957	7,872	7,843
中学校	対象人数		77	94	76
	援助総額		8,632	10,412	8,124
計	対象人数		195	203	191
	援助総額		16,589	18,284	15,967

## 2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給する。

内訳（平成27年度上限額）※今後、変更となる場合があります。

（単位：円）

区分		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	10,235	11,775
学用品・通学用品購入費		5,710	11,160
体育実技用具費 小1~3年、4~6年、中1~3年の 各期間に1回	スキー	13,010	18,670
	柔道		3,755
	剣道		25,970
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,785	3,005
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		775	1,120
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,440	28,185
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

特別支援教育就学奨励費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
小学校	対象人数		12	11	11
	支給総額		460	413	389
中学校	対象人数		7	8	8
	支給総額		400	508	420
計	対象人数		19	19	19
	支給総額		860	921	809

## 3 特別支援学級等通学援助費

小学校及び中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対し、その特殊事情にかんがみ、経済的負担を軽減するため、通学費の一部を支給する。

特別支援学級等通学援助費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
小学校	対象人数		44	42	45
	支給総額		247	234	253
中学校	対象人数		10	11	10
	支給総額		60	66	60
計	対象人数		54	53	55
	支給総額		307	300	313

#### 4 私立幼稚園助成費

【対象施設：学校教育法に基づく私立幼稚園（※新制度に移行した幼稚園を除く）】

##### （ア）就園奨励費補助金

私立幼稚園に通園する幼児の保護者の経済的負担の軽減と公・私立間の保護者負担の格差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った私立幼稚園に対し、補助金を交付する。

補助金の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
対象幼児数	149	133	130
補助金交付額	17,742	18,130	16,296

##### （イ）幼稚園特別支援教育費補助金

特別な支援が必要とされる幼児が在園し、かつ、特別支援教育支援員を置く町内の私立幼稚園に対し、補助金を交付する。

補助金の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
対象幼児数	2	4	4
補助金交付額	1,507	1,424	1,495

#### 5 特定教育・保育施設等給付事業（平成28年度新規）

【対象施設：子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園・保育園・認定こども園】

保護者の経済的負担を軽減するため、児童1人の教育・保育にかかる費用の額と当該児童に係る利用者負担額の差を保育施設に対し、施設型給付費として支給する。

また、利用者負担額は、町民税所得割額に応じ、保育所については既存の保育料と比較し、幼稚園については就園奨励費を考慮し、増額とならないよう設定している。